

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	上地 克明
発言の会議	平成22年 9月 2日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 地方分権の考え方について

(1) 基地の存在が、港の効率的利用を不可能にし、国道 357 号線を分断し、本市経済の縮小・損失の原因になっていることは明白である。固定資産税の代替としての基地交付金だけでなく、仮に基地がなかったと仮定した場合の民間経済活動による富や付加価値の創造、雇用や個人所得などを生み出す経済効果を検証し、政府にさまざまな形で要求していくことについての市長の見解、また執行部に対する具体的言及や指示をしたことがあるのか伺いたい。

#### (2) 分権改革について

ア 希薄な歴史認識や基地問題に対する自治体への配慮の欠如は、自治体を一律の財政シーリングの対象でしか考えられないという現政権の当事者能力の欠如を露呈したものと言わざるを得ない。分権改革を国からではなく、地方からの具体的提言や要求からでしか実現しないと云わざるを得ないが、以前の市長が取り組んできた分権改革の感想、市長の分権についての認識、今後の具体的行動の有無について伺いたい。

イ 本市は中核市でありながら、用途地域の決定権がないなどの

理由で、複雑・多様化する地域の都市問題を主体的、タイムリーに解決できないという問題が生じている。地域主権戦略大綱によると、用途地域の決定権が県から市へ移譲する旨の記述があるが、市長はこの問題に対して、みずからの意志で何らかのアクションを起こしたかどうか伺いたい。

## 2 市政のトップとしての考え方について

- (1) 市長就任後、5人の部長級職員が退職したことについてどのような感想をお持ちか、市長の就任式の言葉「尻をふくことのできる太陽のようで山のような市長」にある、「尻をふく」というのは具体的にどのようなことなのか、また市長が「尻をふいた人」はいるのか。

## 3 財政問題について

- (1) 現在の経済状況では法人税などの税収増などあり得ないので、仮に決算剰余金が出た場合であってもその原因を究明し、さらに正確な当初予算編成ができるようにすべきと考えるが、ご所見を伺いたい。
- (2) 本市の財政状況の中での大きな問題は、従来は一般財源対応であった退職手当及び下水道会計への繰出金を市債に頼っていることである。現在、これら市債に対する償還が年間にどのくらい生じているのか、また、いつまで借り入れる必要があるのか。